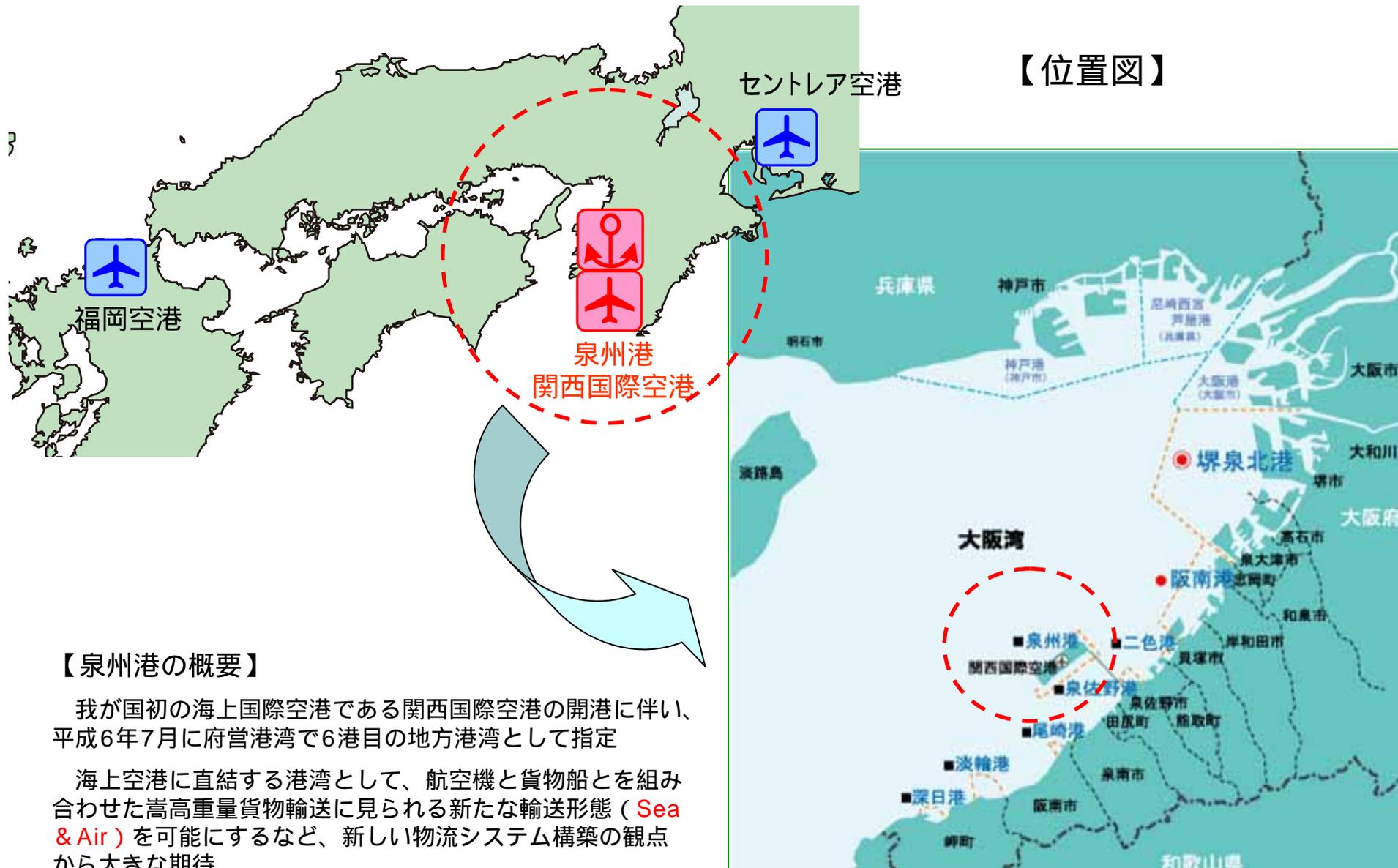


泉州港整備事業

平成20年12月15日

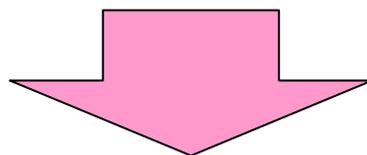
大阪府 港湾局

泉州港の概要



事業の目的

- 今後、利用が予想されるフェリー貨物に対応する。
- 海上国際空港に直結する港湾として航空機と貨物船とを組み合わせた嵩高大重量貨物輸送(sea and air)を可能にする。
- 輸送コストの削減により、関西国際空港利用の産業活動の発展に寄与する



『泉州港岸壁』の整備



経過

- H6.7.11 泉州港港湾区域の設定（同時に大阪府が港湾管理者となる）
- H6.9.4 関西国際空港開港
- H9.1 関西国際空港2期事業の推進方策の一つとして港湾事業を導入
- H11.9.10 泉州港整備現地着手
- H19.8.2 関西国際空港第2滑走路の供用開始

事業概要

1. 整備内容

岸壁：2バース

(-7.5m・130m、-4.5m・100m 各1B)

護岸：延長100m

防波堤：延長200m

用地造成：約3ha

2. 事業年度 平成11年度～平成22年度

(埋立免許)

3. 全体事業費 約130億円

[公共：100億円、起債：30億円]

過年度執行済額24.8億円(公共)

《測量・設計・地盤改良》

平成20年度予算額0億円

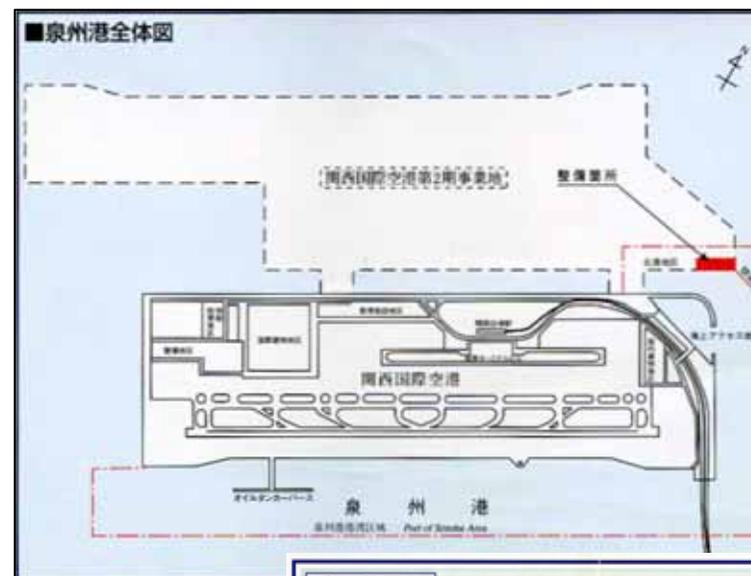
4. 進捗率

公共(岸壁・防波堤等)

24.8%(H19年度末現在)

起債(用地造成)

0%(H19年度末現在)



整備状況 (H20.3末現在)



社会情勢の変化

計画時

- 関空 2 期事業により、一層の航空旅客・貨物の増加が予想
- 小ロット大重量貨物の取り扱いが顕在化
- 海空複合一貫輸送（sea & air）の実現性が一層増加

現時点

- 行財政改革において、近年 1 億円 / 年（事業費の約 1 %）程度の進捗
- H19 の関空 2 期事業の海上工事完了に伴い、府独自で付帯工事（水質汚濁防止膜など）が必要（約 3, 000 万円）
- 今回の財政再建プログラムにより**早期発現効果が困難**であるため、泉州港整備を**一時休止**



今後の方針

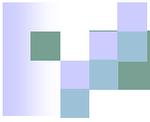
- 社会情勢と工事の進捗状況も踏まえて事業計画の再検討



- 大阪府建設事業評価委員会での審議



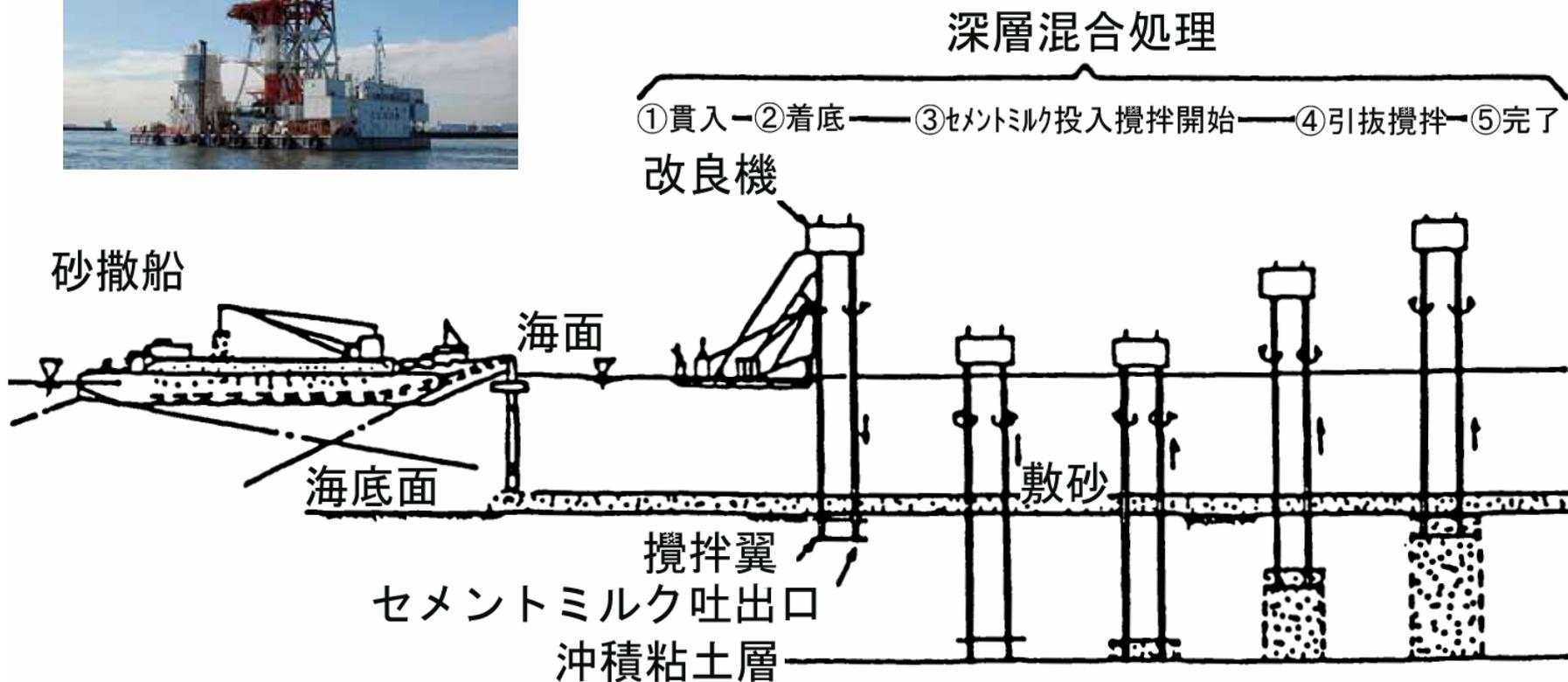
- 泉州港整備事業の再開



参 考

これまでの地盤改良工法

- ・海底軟弱地盤を硬化剤を用いて固め、構造物を支持できる地盤に改良する工法



汚濁防止膜とは

- ・ 海洋や河川での浚渫工事や埋立工事において発生する汚濁を物理的に拡散防止し、周辺への濁りの影響を与えないようにする、膜構造物

